

本時のねらい

自分の実技動画を撮影し、開脚前転と伸膝後転の課題を見つけ、課題を克服できる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・タブレットのカメラ機能を使って、自分が実技している姿を撮影し課題を見つける。
- ・ロイロノートのカード共有機能を活用し、仲間の実技動画を参考にすることで課題を共有する。
- ・フォームテストでは納得できる動画が撮影できるまでチャレンジし、撮影できた動画をロイロノートで提出する。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・iPad
- ・ロイロノート

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・マットの準備 ・ウォームアップ ○金剛ストレッチ・補強運動 ・授業内容の確認(本時のめあて) ○実技テストの時間配分と評価の説明を聞き、課題を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで送られた評価プリントを見て、評価基準を自分で確認する。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ・開脚前転実技テスト ○グループで、開脚前転を繰り返し練習する。 ○ペアで動画を撮り合い、動画を再生して自分の開脚前転を客観的に見る。また、友達や先生から改善すべきポイントについて、アドバイスを受ける。 ○課題を克服するまで繰り返し練習する。 ○再度動画を撮り合い、納得のいく動画が撮れたら、ロイロノートで提出する。 ・伸膝後転実技テスト ○開脚前転と同じ手順でテストを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何度も撮り直しができるので納得ができる実技動画が撮れるまで撮影する。 ・グループで動画を見ながら、お互いの課題や修正点を探し、アドバイスし合う。 ・前回までの授業で配付している見本動画を参考にして、何度も練習を行う。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・マットの片付け ・まとめ ・次回の連絡 	

1人1台端末を活用した活動の様子



送られた模範演技の動画を見て、気をつけるポイントを確認している場面



開脚前転の動画をペアで撮り合っている場面



撮影した動画を見ながら、教員から改善点をアドバイスしている場面

児童生徒の反応や変容

最初の授業でマット運動についてのアンケートをとったところ、苦手や怖いといったマイナスなイメージが多かったが、実技テストを終えた後には、「できなかった技ができるようになった」「怖かったイメージがなくなって去年よりできることが増えた」などマット運動に対する印象が変わっていた。また、授業では自分のできないところを仲間にタブレットで撮影してもらい、自分たちで課題の解決・克服をしようとしていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・タブレットを使い、自分たちの姿を客観的に見ることで、課題の発見や克服につながる。
- ・グループ活動に取り入れることで、仲間とのコミュニケーションが増え、実技を通して仲間との繋がりが広がる。